



滋賀県産品使用！

## ダブルベリーチョコ フラッペ

### ■ 材料（2～3人分）

- バニラアイス：190g
- 牛乳：190cc
- ココア：大さじ1
- アドベリー：50g
- ブルーベリー：50g
- ▲ チョコクッキー：3枚
- ▲ 板チョコレート：15g
- ▲ 氷：150g
- △ トッピング：適量
  - ・アドベリー
  - ・ブルーベリー
  - ・板チョコレート
  - ・ホイップクリーム
  - ・チョコレートソース
  - ・スペアミント



### ■ 作り方

1. ●の材料をミキサーでよく混ぜる。
2. ○の材料を追加して、ミキサーでさらに10秒ほど混ぜる。
3. ▲の材料を追加して、ミキサーでさらに5～10秒ほど混ぜる。
4. グラスに注ぎ、△の材料を盛り付ける。

### ■ 購入先

- アドベリー：株式会社福月様（高島市）より購入
- ブルーベリー：川寅こばたけ商店様（栗東市）より、社会福祉法人パレット・ミル様（栗東市）の商品を購入
- 板チョコレート：ボンボンショコラ様（長浜市）より購入



## クラウドファンディング にご協力ください！

私たちの活動は、クラウドファンディングによる皆様のご支援によって支えられています。右のQRコードからFAAVOしが様の専用ページにアクセス頂き、ぜひ私たちの活動内容をご覧ください。



<https://faavo.jp/shiga/project/4205/>



**R** ヨシストローによる#SDGs推進プロジェクト  
〒525-8577 滋賀県草津市野路東1-1-1  
立命館大学経済学部 寺脇拓ゼミ  
phone/fax: 077-561-4974  
mail: terawaki.lab@gmail.com  
web: terawaki-lab.com  
RITSUMEIKAN 2019年12月25日発行

代表：千葉友里加 副代表：田中志織 会計：山田知加  
メンバー：伊賀祥悟 石森樹 大池恭平 川端博幸  
川原崎里奈 篠原莉奈 清水波圭 末継祐也 滝本玲士  
玉井彩夏 東川敦史 藤本実優 松井大樹 松野実央  
三好舞依 用田哲也 指導教員：経済学部教授 寺脇拓  
協力：滋賀県庁様 立命館大学 あやさん



ヨシストロー  
で

#SDGs





## びわ湖のヨシから作る ヨシストロー

びわ湖周辺に生育するヨシ（葦）には、様々な働きがあります。その一つは、**生き物の棲みか**としての働きです。びわ湖で暮らす水鳥や魚は、卵を産んだり、餌をとったり、外敵から身を隠す場所として、ヨシの群落を利用しています。また、びわ湖の**水質を浄化**する働きもあります。水中の窒素やリンを吸収するだけでなく、水の流れを弱め、水中の汚れを沈めるとともに、ヨシにつく微生物がその汚れを分解します。さらに、ヨシはびわ湖とその周辺の**文化的な景観**を形成する重要な要素の一つでもあります。従ってヨシの保全は、伝統的な歴史景観の維持につながります。

びわ湖のヨシは、次の年により立派なヨシが育つよう、冬の時期に刈り取られます。刈り取られたヨシは、夏の日差しを遮る葦簀（よしず）や葦戸（よしど）、あるいは屋根ふきなどの材料として利用されてきました。しかしながら生活様式の変化に伴い、これらの材料としての利用は縮小する傾向にあります。

私たちが製作した**ヨシストロー**は、この刈り取られたヨシをストローのサイズに切り出したものです。現在、ヨシ紙、ヨシ堆肥など、新たなヨシ製品が開発されておりますが、私たちは、ストローという形で、ヨシの新たな活用方法を提案します。



## ヨシストローの作り方 と使用上の注意点

### ■ 作り方

1. ヨシを半分に切断し、株に近い方（太い方）を使用する。
2. ヨシの皮を剥がす。
3. 節と節の間の中央21cmの部分を、クラフト用の目の細かいノコギリで切り出す。
4. ストローの口を400番のサンドペーパーで面取りする。
5. ストローブラシで内部を掃除する。
6. ストローブラシで内部を、スポンジで外部を、いずれも水で洗淨する。
7. 酢水（水と酢共に500cc）にストローを25本入れ、15分間煮沸する。
8. 酢水をよく洗い流した後、再度水で15分間煮沸する。
9. 乾燥機で1時間乾燥させる。

### ■ 使用上の注意点

- 当製品は、びわ湖周辺に生育する天然のヨシ（葦）から作られております。ヨシ、およびイネ科の植物にアレルギーがある方は、使用をお控えください。
- 天然の素材ゆえ、炭酸水や高温の飲料で使った場合には、ストローから少し色が染み出る可能性がございます。
- 防カビ剤・防腐剤・漂白剤は使用しておりません。再度利用される場合は、内部を洗淨後、よく乾かしてからご使用ください。

当製品は、(一財)ボーケン品質評価機構様より、衛生・品質検査を行って頂いております。右のQRコードより報告書をご覧ください。



## ヨシストローとSDGs

**SDGs**（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）は、2015年9月の国連サミットにおいて採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」の中に記載される、2030年までを期限とした17の国際目標です。「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現を目指すものであり、現在世界中で、様々なSDGsの取り組みが行われています。

SDGsの達成に向けてしばしば議論される重要なテーマの一つが、**プラスチックごみによる海洋汚染**の問題です。現在すでに1億5000万トンのプラスチックゴミが世界の海に存在しており(※1)、毎年少なくとも800万トンものプラスチックゴミが新たに海へ流入していると推定されています(※2)。こうした中、紙ストローに代表されるように、プラスチックストローを環境負荷の少ないストローへと転換する動きが、世界各地で見られます。

天然素材であるヨシストローの普及は、びわ湖だけでなく、世界の海洋生態系の保全にもつながることから、SDGsの実現に貢献するものと期待されます。私たちは、このヨシストローに対して人々が支払ってもよいと考える金額を導き出すことで、ヨシストローの商品化を考える企業にとって有益な、需要側の情報を提供します。



12 つくる責任  
つかう責任



14 海の豊かさを  
守ろう

※1 World Economic Forum (2016) The New Plastics Economy: Rethinking the future of plastics

※2 McKinsey & Company and Ocean Conservancy (2015) Stemming the Tide: Land-based strategies for a plastic-free ocean

